

□ プログラム □

■ International Session From Biology to Therapeutics

7月27日 15:00～17:30

第1会場

座長：鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部 病理学第一講座）
西村 泰治（熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野）

【共催：武田薬品工業株式会社】

- IS-1 **Enterotoxigenic Bacteroides fragilis: a master assimilator of carcinogenic mechanisms**
Cynthia L. Sears
Department of Medicine / Infectious Diseases, Johns Hopkins University, School of Medicine, USA
- IS-2 **Novel CAR-T cell technology for treatment of solid cancers**
Koji Tamada
Department of Immunology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan
- IS-3 **Searching for a new target for CAR-T Therapy**
Kiyoshi Yoshimura
Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center Division of Cancer Immunotherapy National Cancer Center, Japan
- IS-4 **Mutanome Directed Cancer Vaccination with RNA**
Mustafa Diken
Immunotherapy Development Center, TRON, Germany
- IS-5 **Precision Medicine Initiative At NCI**
Naoko Takebe
Division of Cancer Diagnosis and Treatment, National Cancer Institute, NIH, USA

■ モーニングセミナー 1

7月28日 8:05～8:55

第1会場

座長：杉山 治夫（大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学）

【共催：中外製薬株式会社】

iPS細胞を介した抗原特異的がん免疫の再生に向けて

金子 新（京都大学 iPS 細胞研究所）

■ シンポジウム 1 細胞療法の新展開

7月28日 9:00～10:30

第1会場

安川 正貴（愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座）
垣見 和宏（東京大学大学院医学系研究科 免疫細胞治療学講座）

- S1-1 Antileukemia adoptive immunotherapy using gene-modified T cells to express leukemia antigen-specific T-cell receptor.**
藤原 弘
愛媛大学附属病院 第一内科
- S1-2 Anti-CD19 Chimeric Antigen Receptor modified T-cell therapy for relapsed and refractory Non-Hodgkin lymphoma as a breakthrough therapy**
OHMINE Ken^{1,2)}
¹⁾ Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University,
²⁾ Division of Immuno-Gene and Cell Therapy (Takara Bio), Jichi Medical University
- S1-3 Regeneration of antigen specific T cells using the iPS cell technology: Development of a novel method in T cell therapy for allogeneic transplantation setting**
○ KAWAMOTO Hiroshi¹⁾、増田 喬子¹⁾、前田 卓也^{1,2)}
¹⁾ Department of immunology, Institute for frontier medical science, Kyoto University,
²⁾ Department of hematology and oncology, Graduate school of medicine, Kyoto University
- S1-4 DC-based immunotherapy targeting neoantigens**
○ MATSUSHITA Hirokazu、KAKIMI Kazuhiro
Department of Immunotherapeutics, The University of Tokyo Hospital

■シンポジウム2 免疫チェックポイント分子

7月28日 10:30～12:00

第1会場

座長：玉田 耕治（山口大学大学院医学系研究科 免疫学）
平家 勇司（聖路加国際病院 免疫・細胞治療科）

- S2-1 免疫チェックポイント機構による免疫抑制の分子メカニズム**
玉田 耕治
山口大学大学院医学系研究科 免疫学
- S2-2 既存薬を用いた、がん微小環境の免疫抑制解除による、免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果の増強**
○谷口 智憲¹⁾、中村 謙太^{1,2)}、早川 妙香¹⁾、坪田 欣也^{1,3)}、河上 裕¹⁾
¹⁾ 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所 細胞情報研究部門、²⁾ 信州大学医学部 皮膚科学教室、
³⁾ 東京医科大学眼科
- S2-3 抗PD-1抗体あるいは抗CD4抗体併用によるペプチドワクチン療法の増強効果**
○中面 哲也、澤田 雄、藤浪 紀洋
国立がん研究センター 先端医療開発センター免疫療法開発分野
- S2-4 がん治療と患者免疫**
平家 勇司
聖路加国際大学 聖路加国際病院 免疫・細胞治療科、聖路加国際病院 研究センター 共同研究ラボラトリー
- S2-5 免疫チェックポイント阻害療法における有害事象**
北野 滋久
国立がん研究センター中央病院 先端医療科

■会長講演（ランチとともに）

7月28日 12:15～13:00

第1会場

座長：中山 俊憲（千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学）

【共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社】

外科医が経験したがん免疫療法

奥野 清隆（近畿大学医学部 外科）

■招請講演 1

7月28日 13:30～14:30

第1会場

座長：珠玖 洋（三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫学細胞治療学
三重大学複合的がん免疫療法研究センター）

Human Colon Cancer: Biofilms, Microbes, Genes and IL-17

Cynthia L. Sears（Department of Medicine / Infectious Diseases, Johns Hopkins University, School of Medicine, USA）

■特別企画 がん免疫療法の実用化に向けた産官学の連携と課題

7月28日 14:40～17:20

第1会場

座長：河上 裕（慶應義塾大学医学部先端医学研究所 細胞情報研究部門）
池田 裕明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野）

【共催：大鵬薬品工業株式会社／ミヤリサン製薬株式会社】

SS-1 膵癌ペプチドワクチン療法の開発－産官学の連携と将来に向けた課題－

山上 裕機

和歌山県立医科大学 外科学第2講座

SS-2 産官学の連携を見据えた抗PD-1抗体ペムブロリズマブの開発プログラム

嶋本 隆司

MSD株式会社 オンコロジーサイエンスユニット

SS-3 がん免疫に係る医薬品の臨床試験について

井口 豊崇

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

SS-4 がん免疫療法の実用化に向けた産官学の連携と課題

武部 直子

Division of Cancer Diagnosis and Treatment, National Cancer Institute, NIH, USA

SS-5 AMEDのミッション：Medical Artsの創出を目指して

末松 誠

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

■モーニングセミナー 2

7月29日 8:00～8:50

第1会場

座長：伊東 恭悟（久留米大学がんワクチンセンター）

【共催：MSD 株式会社】

胆道がんの包括的なゲノム・トランスクリプトーム解析が明らかにした免疫治療の可能性

柴田 龍弘（東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター ゲノム医科学分野、
国立がん研究センター研究所 がんゲノミクス研究分野）

■ワークショップ 1 がん免疫療法の評価法 / バイオマーカー

7月29日 9:00～10:30

第1会場

座長：影山 慎一（三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学）
和田 尚（大阪大学大学院医学研究科 臨床腫瘍免疫学）

WS1-1 がん免疫療法の血液バイオマーカー

- 藤田 知信
- ¹⁾
- 、野路しのぶ
- ¹⁾
- 、南雲 春菜
- ¹⁾
- 、岡本 正人
- ²⁾
- 、桜井 敏晴
- ¹⁾
- 、中面 哲也
- ³⁾
- 、
-
- 松枝 智子
- ⁴⁾
- 、伊東 恭悟
- ⁴⁾
- 、竹之内寛子
- ⁵⁾
- 、碓 彰一
- ⁵⁾
- 、岡 正朗
- ⁵⁾
- 、河上 裕
- ¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所、²⁾ 北里大学薬学部 先端免疫治療学、³⁾ 国立がん研究センター早期探索臨床研究 - センター免疫療法開発、⁴⁾ 久留米大学がんワクチンセンター、⁵⁾ 山口大学医学部 消化器腫瘍外科WS1-2 固形癌における Programmed Death of Ligand 1 (PDL1) 発現の生物学的意義と
抗 PD1/PDL1 抗体免疫療法のバイオマーカーとしての有用性

- 岡野 慎士
- ^{1,2)}
- 、吉住 朋晴
- ²⁾
- 、沖 英次
- ²⁾
- 、佐伯 浩司
- ²⁾
- 、岡本 龍郎
- ²⁾
- 、山下 奈真
- ²⁾
- 、
-
- 池上 徹
- ²⁾
- 、副島 雄二
- ²⁾
- 、松本 拓也
- ²⁾
- 、小田 義直
- ³⁾
- 、前原 喜彦
- ²⁾

¹⁾ Cleveland Clinic, Department of General Surgery、²⁾ 九州大学大学院医学研究院 消化器総合外科、³⁾ 九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学

WS1-3 病理組織学バイオマーカーによる免疫病理診断の重要性

- 鳥越 俊彦、廣橋 良彦、塚原 智英、金関 貴幸、中津川宗秀、久保 輝文、
-
- 菊池 泰弘

札幌医大医学部 病理学第一講座

WS1-4 がん免疫療法でのバイオマーカーとしての免疫抑制細胞

西川 博嘉

国立がん研究センター 先端医療開発センター免疫 TR 分野

WS1-5 予後・治療効果予測因子としてのネオアンチゲンおよび免疫シグネチャーに関する
検討

垣見 和宏

東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学

■ワークショップ 2 免疫抑制因子の解除と複合免疫療法

7月29日 10:30～12:00

第1会場

座長：中面 哲也（国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野）
原田 守（島根大学医学部 免疫学講座）

WS2-1 免疫抑制因子を解除する抗体療法を含む複合療法の臨床開発

設楽 紘平

国立がん研究センター東病院

WS2-2 抗CD4抗体と免疫チェックポイント抗体併用療法の開発

松島 綱治

東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学

WS2-3 Anti-FSTL1 mAb as a next generation of immunotherapeutics for reprogramming host immunity toward against cancer

工藤 千恵

国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野

WS2-4 がんシグナル伝達分子阻害薬による免疫抑制の解除

○谷口 智憲¹⁾、岩田 卓^{1,2)}、里見 良輔^{1,4)}、守井 賢二¹⁾、西尾 浩^{1,2)}、杉山 重里^{1,2)}、
中村 謙太^{1,3)}、香川 昌樹¹⁾、藤田 知信¹⁾、河上 裕¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門、²⁾ 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室、

³⁾ 信州大学医学部皮膚科学教室、⁴⁾ 国立病院機構東京医療センター呼吸器科

WS2-5 免疫抑制因子を解除する複合免疫療法の開発状況

北野 滋久

国立がん研究センター中央病院 先端医療科

■日本がん免疫学会 総会長特別セッション

7月29日 11:20～12:00

第2会場

厚生労働省医薬品等審査迅速化事業費補助金による「がん免疫療法臨床開発ガイドンス」の報告

司会：上田 龍三（愛知医科大学 腫瘍免疫寄附講座）

G-1 がん免疫療法開発のガイドンス 2016 後期臨床試験の考え方

影山 慎一

三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学

G-2 がん免疫療法開発のガイドンス 2016

～がん免疫療法に用いる細胞製品の品質、非臨床試験の考え方～

池田 裕明

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 腫瘍医学分野

G-3 がん免疫療法開発のガイドンス 2016

がんワクチン・アジュバント非臨床試験ガイドンス

原田 直純

三重大学 複合的がん免疫療法研究センター

■ランチオンセミナー

7月29日 12:00～13:00

第1会場

座長：河本 宏（京都大学再生医科学研究所 河本宏研究室）

【共催：エーザイ株式会社／エルメッド エーザイ株式会社】

卵巣癌の微小免疫環境と抗 PD-1 抗体療法の役割

○万代 昌紀¹⁾、瀨西 潤三²⁾、安彦 郁²⁾、松村 謙臣²⁾、小西 郁生²⁾¹⁾ 近畿大学医学部 産科婦人科、²⁾ 京都大学医学研究科 婦人科産科

■招請講演 2

7月29日 13:00～14:00

第1会場

座長：笹田 哲朗（神奈川県立がんセンター・がんワクチンセンター）

The evolution of RNA-based vaccines against cancer

Mustafa Diken (Immunotherapy Development Center, TRON, Germany)

■シンポジウム 3 次世代アジュバントの開発

7月29日 14:00～15:15

第1会場

座長：瀬谷 司（北海道大学大学院医学研究科 免疫学分野）

藤井眞一郎（理化学研究所 総合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム）

S3-1 多機能性がんワクチン「人工アジュバントベクター細胞」の開発

FUJII SHIN-ICHIRO

理化学研究所 総合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム

S3-2 がんにおけるゲノム異常と腫瘍免疫回避のメカニズムについて

小川 誠司

京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学

S3-3 Development of a non-inflammatory TLR3 adjuvant for cancer immunotherapy

○ MATSUMOTO Misako、TAKEDA Yohei、SEYA Tsukasa

Hokkaido University Graduate School of Medicine

S3-4 アジュバントによるワクチンデザインと免疫療法への展開

ISHII Ken

国立研究開発法人 医薬基盤健康栄養研究所、大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

■がん免疫学会 / バイオセラピー学会合同シンポジウム

複合的がん免疫療法 — 複合 / 併用療法の科学的基盤と開発戦略 —

7月29日 15:15 ~ 17:15

第1会場

座長：鵜殿平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍制御学免疫学分野）
山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）

【共催：オンコセラピー・サイエンス株式会社】

- JS-1 複合的がん免疫療法 ～先行する臨床試験の結果から見えてきたこと～
北野 滋久
国立がん研究センター中央病院 先端医療科
- JS-2 科学的・臨床的根拠に裏付けされた新たな複合的がん免疫療法を目指して
地主 将久
MSD Japan. Japan Oncology Scientific Affairs
- JS-3 免疫チェックポイント阻害療法不応答性腫瘍を標的とした治療戦略の検討
○村岡 大輔^{1,2)}、瀬尾 尚宏²⁾、林 妙²⁾、藤井 啓介²⁾、原田 直純²⁾、井元 清哉³⁾、
山口 類³⁾、上村 光弘³⁾、宮野 悟³⁾、八木田秀雄⁴⁾、秋吉 一成⁵⁾、珠玖 洋²⁾
¹⁾ 静岡県立大学大学院薬学研究院 創薬探索センター、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学、
³⁾ 東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター、⁴⁾ 順天堂大学医学部 免疫学講座、
⁵⁾ 京都大学大学院工学研究科 生体機能高分子
- JS-4 肺がん症例における血漿免疫チェックポイント関連分子（PD-L1, PD-L2）の
バイオマーカーとしての有用性
○飯沼 久恵、田村 純子、金岡 里枝、中山 敬史、上原 浩文、松谷 哲行、川村 雅文
帝京大学医学部 外科
- JS-5 大腸がんペプチド療法における免疫病態解析と次世代型がん複合免疫・ペプチド療法
の構築と臨床展開
○碓 彰一^{1,2)}、鈴木 伸明²⁾、友近 忍²⁾、井上 由佳²⁾、松井 洋人²⁾、田中 宏典²⁾、
中島 正夫²⁾、永野 浩昭²⁾
¹⁾ 山口大学医学部 先端がん治療開発学、²⁾ 山口大学大学院消化器 腫瘍外科学
- JS-6 消化器癌に対する癌ワクチン療法+抗 PD1 抗体治療の臨床応用の開発
○河野 浩二^{1,2,3)}、大木 進司¹⁾、早瀬 傑¹⁾、藤田正太郎¹⁾、門馬 智之¹⁾、高和 正¹⁾、
岡山 洋和¹⁾、中島 隆宏¹⁾、Aung Kyi¹⁾、白石 謙介³⁾、三村 耕作³⁾、竹之下誠一^{1,2)}
¹⁾ 福島医科大学 器官制御外科、²⁾ 福島医科大学 先端がん免疫治療学、³⁾ シンガポール大学 外科